



Point

稲刈りの適期を見極めて、 高品質米を出荷しましょう！



男鹿地区営農センター 考査役 伊藤 仁

いよいよ稲刈りシーズンがやってきました。高品質米の収穫や1等米比率の向上を目指して、刈り取り作業を適期に行いましょう。

刈り取り適期の基準

品種	時期	積算気温	黄化程度
あきたこまち	出穂後45日頃	950~1,050℃	籾の黄化程度が90%に達した頃
ぎんさん・ひとめぼれ・めんこいな	出穂後50日頃	1,050~1,150℃	

●出穂日から見る刈り取り日の目安

出穂日	8月1日	8月3日	8月6日
刈り取り適期	9月16日	9月19日	9月23日

日数だけで判断して刈り取りするのではなく、
必ず籾の状態を確認してから収穫しましょう！

稲刈り・出荷時の注意点

- 刈り取りが遅れると、胴割れや発芽などが発生して落等する原因になります。適期を逃さずに稲刈りを行いましょう。
- 出荷時に量目不足などで検査できない場合を防ぐため、計量器の点検・調整を必ず行いましょう（皆掛けで紙袋30.5kg、フレコン1,032kgに調整してください）。
- 水分は15.0%以下を目標として、胴割れなどが発生しないように注意して乾燥しましょう。
- コンタミの防止のため、機械の清掃を必ず行いましょう。また、最初の作業分の米は飯米などで対応してください。
- 高品質米を生産し、売れる米づくりを推進していくために1.9mmの選別網の使用をお願いいたします。1.9mm選別網を使うことでカメムシ斑点米や未熟粒などの混入を抑え、整粒歩合を向上させることができます。網目の交換につきましては、各農機センターまでお問い合わせください。

栽培履歴の提出は必須です！

J A米の条件のひとつとして、栽培履歴の提出が必須となります。
未提出の方は最寄りの支店または営農センター、グリーンセンターに提出してください。